

一般財団法人 岡山県国際交流協会

事業名	留学生等における地域住民・児童との交流事業			
実施期間	平成25年6月～平成26年1月			
場 所	岡山国際交流センター、県内(岡山市を除く)小学校			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他(児童)	合計
	42 名	160 名	303 名	505 名

＜実施内容＞

・県境の小学校へ留学生を派遣し、留学生と児童が交流する「留学生等による国際理解学習支援プログラム」を年10回実施しました。普段、外国の方と交流する機会の少ない児童にとって、直接、留学生と触れ合うことができるこの事業で、国際交流へのきっかけとなることを期待しております。

・留学生が出身国の文化などを紹介しながら県民との交流を深める「留学生と県民との交流会」を年3回にわたり実施しました。6月スコットランド編、10月モンゴル編、12月特別編として開催し、特別編では全14名の世界各国の留学生とクイズや音楽を通じて交流しました。



「留学生と県民との交流会—特別編」
楽しそうに交流する留学生と参加者の様子

・「留学生等による国際理解学習支援プログラム」は、県内の大学に在学する世界各国の留学生を外国の方とふれ合う機会の少ない辺境の小学校へ講師として派遣し、学校が企画・提案した国際理解の授業プランに沿って、留学生と子どもたちが交流するものです。また、このプログラムの実現の為、留学生と子どもたちとの交流を推進し、留学生を送迎する役割を岡山ロータリークラブに担って頂いております。子どもたちにとって、出身国の紹介だけでなく、遊びや踊り、歌などバラエティーに富んだ授業で直接、交流することができ、子どもたちの目もキラキラと輝いておりました。また、留学生からも「楽しかった！また行きたい。」との声が多く上がり、双方にとって実りのある時間だったことがうかがえます。

・「留学生と県民との交流会」では、各回スコットランド編(6月)、モンゴル編(10月)、特別編(12月)とし、各国出身の留学生が毎回、出身国の文化や言葉を紹介したり、出身国に関するクイズや音楽演奏、グループ別交流などを通じて楽しい時間を過ごしました。特に12月に開催した特別編では、日本人、外国の方、ご年配の方からお子さんまで95名もの参加者が集まり、アメリカ、ケニア、パプアニューギニア、マレーシアなど様々な国の留学生の出身国の紹介や歌や民族の踊りのパフォーマンスに見入っており、また立食パーティーで楽しく交流を深めることができました。

<参加者からのコメント>

「留学生等による国際理解学習支援プログラム」 円城小学校 担任 綱嶋 茂さん(日本)
/Shigeru Tsunashima

マレーシアの紹介は児童にとってわかりやすく、踊りや歌や遊びなど楽しく一緒に活動できました。給食や休み時間にも交流でき、児童にとって楽しい時間となり、外国の文化に親しむことができました。子どもたちが楽しく活動できるプログラムが計画されており、マレーシアの文化に触れることができ、大変よかったです。

「留学生と県民との交流会<特別編>」 山本美貴さん(日本) / Miki Yamamoto

テレビで見たことのある遠い国の人たちが岡山にも住んでおられることが分かり、今までよく分からなかった国々のことも今日出会ったことで、とても興味を持つことができました。特に、国の紹介を聞くだけでなく、いろいろな国の人たちと談話する時間を持てたことは、他の国の暮らしぶりや文化をより身近に感じることができ、とてもよい体験になりました。また、このような機会があれば、ぜひ参加させていただきたいです。